

会議	令和3年度第2回 坂井市行政改革推進協議会		記録	承認
日時	令和4年3月22日 (火) 午後2:00~		事務局 草壁	財政課 奥出課長
場所	坂井市役所 3階 災害対策本部室			
出席委員	井上会長、中川委員、清島委員、伊藤委員、中林委員、寺本委員、柏山委員、細川委員、高緑委員			
欠席委員	岡本委員、矢部委員			
事務局	北川副市長、松本総務部長、浦井財務部長、奥出財務部次長兼財政課長、同課木下課長補佐、同課小林課長補佐、同課草壁主任			
資料	資料1 令和4年度当初予算の概要 資料2-1 実施計画達成状況見込 資料2-2 実施計画見直しスケジュール			
I 開 会	副市長あいさつ	副市長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>本日は大変お忙しい中、令和3年度の第2回行政改革推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。また日ごろは市政全般にわたりまして、いろいろとご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、坂井市も今月3月20日で、合併して丸16年ということとなり、非常に早いな、という感じがしているところでございます。</p> <p>その中で、この行政改革実施計画は第三次までできておりまして、職員の意識改革、指定管理制度の導入、補助金の見直しなどを中心に、いろいろな課題があるわけですが、職員一丸となって取り組んでおり、いろんな成果がでてきているところでございます。これも委員の皆様のご尽力、ご協力によるものと感謝しているところでございます。</p> <p>行政改革については、本来であれば来年度から第四次の行政改革大綱を策定するところではございますが、今回は総合計画との兼ね合いもありますので、第三次大綱を3年延長しまして、評価を行っていくところでございます。</p> <p>今日の会議ではそういう中で、令和4年度の予算の概要であったり、また第三次行政改革の現時点での取り組み状況の報告についてご説明したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>	
		財政課長	<p>会議の前に、岡本委員、矢部委員につきましては、所要のため欠席とご連絡をいただいておりますのでご報告します。</p>	
II 会 議	行政改革推進協議会長あいさつ	財政課長	<p>それでは会議のほうに入らせていただきます。まずは井上会長からご挨拶いただきまして、その後は会長の進行で進めていただきたいと思います。会長お願いします。</p>	

II 会 議	行政改革推 進協議会長 あいさつ	会長	<p>皆さんこんにちは。本日はお忙しいところ、第2回坂井市行政改革推進協議会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>この行政改革の取り組みに関しては、先ほど副市長さんからもお話いただきましたように、本来は区切りを迎える時期ではありますが、今回は期間を延長するというので、引き続き今の行革大綱の枠組みの中で皆さんからご意見をいただければと思っております。</p> <p>また新型コロナの関係では、多様な主体の役割分担をどうするのかといった全国的な議論が、国レベル、また自治体レベルで起きているところでございます。</p> <p>これらは感染症対策だけのことではなくて、本来の行政のあり方、その根本にまで関わってくる問題と感じています。そういった意味でここに掲げられております行政改革の具体的な取り組みももちろん大事ですが、市が本来やるべきことなのかといったことも突き詰めていただきながらご議論いただいて、次の行革へとつなげていけるような形が取れたらと思っております。</p> <p>本日は二つの議題を用意しております。皆様から忌憚のないご意見いただきまして、今後の行政改革に活かしていければと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
	1 令和4年 度当初予算 の概要につ いて	会長	それでは次第に基づきまして進めていきたいと思えます。まずは議題の1番、令和4年度当初予算の概要でございます。
		事務局	【資料1】 令和4年度当初予算の概要について (説明)
		会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回は骨格予算ということで、大がかりなプロジェクトというのはこれから補正で対応していくということでしたが、現段階での予算に関して、ご質問やご意見等ございましたら、なんでも結構ですのでお願いいたします。</p> <p>なかなか難しい財政の用語などもありましたので、そういったことを説明してほしい、といったことでも構いません。</p>
		委員	予算の歳出ですが、人件費が上がっているのは何か新しい取り組みなどがあって上がっているのですか。あるいは職員さんの待遇が良くなっているのか、何か理由があれば教えていただけますか。
		事務局	これとって大きな理由があるわけではなくて、定期昇給ですとか、あとは会計間での異動などによって職員構成が変わっているといったところがあるのかと思います。
		会長	予算に計上された職員の人数には、増減はありますか？
		事務局	予算上の人数としましては、令和4年度一般会計で692人、昨年度は693人でしたので、数字では1人減となっております。
		会長	<p>おそらく給与水準の高い職員の方もいれば、そうでない若手の方もいらっしゃるって、そういった年齢構成であったり、また会計間の異動というお話もありましたが、一般会計で計上されていた人が別会計に移ったりとか、そういったことで変動するということですね。</p> <p>特に何か職員が好待遇になったとか、そういうわけではないというご説明だったかと思えます。</p>

II 会 議	1 令和4年 度当初予算 の概要につ いて	会長	<p>他にいかがでしょうか。では、私からさせていただきたいと思います。</p> <p>今回骨格予算ということで、特に投資的経費、普通建設事業費が21億円減っているわけですが、今後補正で肉付けされると、この部分が増えてくるのだらうと思います。その分の財源については、どういう想定をされていますか。</p> <p>歳入を見ると市債が24億減ですから、市債が財源になるのだとは思いますが、すでに市税が当初予算で6億の増加と計上されているとなると、今後の補正で市税の上積みができるのか、少し心配なところがあります。そのあたりの見通しを詳しく教えていただけますか。</p>
		財務部長	<p>今後、投資的経費に対応していく財源ですけれども、市債では合併特例債とか、基金取り崩しでは財政調整基金やまちづくり整備基金の活用になってくるかと思います。</p> <p>市税については昨年度より6億円増えていますが、高めに見積もっている状況です。その他では前の年からの決算剰余金が今後出てきますので、それらを財源として今後補正をしていくことになります。</p>
		会長	<p>ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> <p>今回は骨格予算なので、また年度明けに、肉付けされた後の予算に関して補足の説明の機会があると良いのかな、と思いますので、ご検討いただけたらと思います。</p> <p>他にご意見等いかがですか。新しく出てきた予算事業に関しても、これは何をするのか、といった質問でも結構です。</p>
		委員	<p>新規事業の中のキッチンカー導入支援について、よろしいですか。</p> <p>先日の魚市場でのイベントのときもキッチンカーがいらっしたんですが、これは元々飲食業の方がキッチンカーを作るのを補助するのでしょうか、例えば全く飲食関係ない方や店舗を持ってない方が、仕事を変えたいとか転職したい、といった場合でも補助していただけるんですか。</p>
		財政課長	<p>今のところは、元々商売をやっている中小企業や個人事業者を対象にする聞いております。</p> <p>おっしゃるような転職とか新規参入といったニーズが多ければ、今後そういった方を対象に含めるかという検討はされてくると思います。</p>
		委員	<p>ありがとうございます。この先そのキッチンカーを集めて何かイベントをすとか、そういった展開もあるんでしょうか。</p>
		財政課長	<p>市の行事やイベントにはできるだけ参加していただくというふうにしていきたいと思っています。</p>
		会長	<p>他にいかがでしょうか、よろしいですか。</p> <p>それでは当初予算については以上とさせていただきます。</p>
	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	会長	<p>続きまして、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>第三次行政改革大綱の実施計画についてということで、二点ございます。</p> <p>それぞれ関連がありますので、一括して進めてまいりたいと思います。内容の説明を事務局からお願いいたします。</p>
		事務局	<p>【資料 2-1】 実施計画達成状況見込 (説明)</p> <p>【資料 2-2】 実施計画見直しスケジュール (説明)</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料では行政改革の項目全般についての説明がされていますけれど、時間の都合もありますので、重要な点に絞ってご説明いただきました。</p> <p>この後皆さんからご質問、ご意見等いただきたいのですが、説明のなかったところでも気になる点などありましたらご意見いただきたいと思います。</p> <p>また第9期、今後の行革に関しても、できれば引き続きお願いしたいということでしたので、今後のことも踏まえて、できればまたお一方ずつご意見、ご質問等いただきたいと思います。</p>
		会長	<p>それでは私の方からいくつかお尋ねします。</p> <p>まず、4 ページの項目番号 32、33、34 番ですが、これらは税金などの滞納対策といったところが中心になっているわけですが、それぞれ取組中となっています。ただ似たような取り組みであると思うのですが、状況に濃淡があるというか、うまくいっているところもあれば若干そうでないところがあるように見えるのが気になりましたので、そのあたりの違いというものについてお聞きしてよろしいですか。</p> <p>例えば 32 番、滞納繰越額を 9 億円台にまで減らすということで、現時点で 565 百万円ということは達成と捉えていいのだと思うのですが、33 番の税外債権のほうでは、5 年間で 5000 万円の縮減を目指すというところには至ってないようです。また 34 番の市営住宅の料金についても、収入未済額が平成 30 年と比べると半減してはいるのですが、令和 2 年と令和 3 年で比べると増えていますし、また 5 年間で 150 万円という目標にはちょっと達していない。このあたりは当然それぞれの性質、内容によっていろいろあるのだとは思いますが、もう少し教えていただけますか。</p>
		事務局	<p>32 番の市税収納率の向上については、おっしゃるとおり予定通り進んでおり、令和 3 年度もかなり取り組んでおり効果があるだろうと見込んでいますが、現在まだ令和 3 年度が終わっていないので取組中という表記がされています。</p> <p>34 番の市営住宅につきましても、5 年間トータルで 150 万の縮減ということで、現在トータルで達成は見込める状況にはあるのですが、令和 3 年度比では少し増えているということもあり、もう少し令和 3 年度の推移を見極める必要があるということで取組中としております。</p> <p>33 番の税外債権の部分については、当初計画段階ではこれくらいは見込めるだろうという想定で計画を作成したところなのですが、一定程度取組を進めていきますと、なかなか大きな徴収効果は得られないというところがあります。このあたりも含めまして、令和 3 年度が終わりましたら各課にヒアリングをかけて、状況について詳細に確認するということとなりますので、よろしくをお願いします。</p>
		会長	<p>市営住宅に関しては、住宅の家賃ですから、税金よりも受益者負担の意味合いが強くて、住民の方も「払わなきゃいけない」、という意識は強いのではないのかな、と思うのですが、ご担当されているのが都市計画課ということで、その徴収だけがお仕事ではないでしょうから、使用料の徴収といった分野に関して必ずしも専門的なノウハウが蓄積されていないところがあるの</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	会長	<p>かな、とも思いました。</p> <p>おそらくすでにやってらっしゃるとは思いますが、そういったノウハウを持っている納税課と一緒に動いていくというようなことも必要になってくるだろうと思うのですが、そのあたりはいかがですか。</p>
		事務局	<p>おっしゃるように、納税課の方で、税金だけではなく税外債権ということで、都市計画課の使用料や給食の滞納とか、税金でない収入であっても、ノウハウの提供とか一緒に動いているところで、市営住宅についてもある程度効果はあがっていると考えております。</p>
		会長	<p>ありがとうございます。あともう一点、26番の補助金合理化ということでお尋ねします。</p> <p>達成見込みということですが、これは内部検証を実施するという目標を達成したと、毎年検証を実施しました、ということだと思えますね。問題はその検証した結果どうなったのか、というところになるのだと思います。</p> <p>私も過去にこの補助金の外部評価をやらせていただいた事がありましたので、そういったことを踏まえて内部検証されているのだと思いますけれど、その内部検証で今、どういった成果が出ているのかといったことがわかれば、教えていただければありがたいなと思います。</p>
		事務局	<p>おっしゃるとおり、この項目については全ての補助金について内部検証を実施し、検証結果を踏まえて3年ごとに抜本見直しをするということで目標達成という形になっています。</p> <p>今具体的な数字は持ち合わせていないのですが、なかなか既存の補助金の見直しが進んでいない状況かなというふうに思いますので、今回の延長計画の中で、こういった形で取り組むのかを含め、検討したいと思っております。</p>
		会長	<p>ありがとうございました。それではみなさんからもご意見やご質問、また今後の行革についてのご要望等、なんでもかまいませんので、一言ずつ頂きたいと思います。</p>
		委員	<p>51番のワーク・ライフ・バランス、ここには男性の育休は書いてありませんが、これとは別に取り組まれているんですね。</p> <p>こういったものは制度としては良くできていても、実際に取得するのは難しいとか、昇進に影響があるんじゃないとか、あるいは管理職の方にどの程度理解があるのかということにもよると思いますので、そういった休暇を取りやすい環境づくりというものをより進めてもらいたいと思います。</p> <p>少子化が叫ばれている中で、市がどのように取り組んでいくのかということをもっと具体的な目標が出てくるといいのかなと思います。</p>
		事務局	<p>この項目では今回は有給休暇の取得促進ということを目標として設定してきましたが、当然制度としては育休も含めたその他の休暇制度もあります。</p> <p>今のようなご意見をいただけるのは非常にありがたいですし、この5年間の中で制度や社会情勢の変化もありましたので、それらを踏まえて次の計画、目標に盛り込んでいければと思います。</p>
		委員	<p>県の目標を見ても、こういったことがかなり大きく出てました。</p> <p>坂井市も全国トップクラスの共働き率ということですし、管理職の方たち</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	委員	にもご理解いただいて、ぜひ積極的に取り組んで欲しいと思っています。
		総務部長	<p>今、坂井市では女性の育休は 100%取っていただいています。ただ昨今、男女平等、ジェンダーフリーという時代ですし、坂井市としても、今は男性の育児休暇取得、女性の方と交代で育児に関わってほしいということで、力を入れて取り組んでいます。</p> <p>今委員さんがおっしゃったように、課の理解、管理職の意識改革というのも大変重要ですので、管理職に向けたセミナーや研修会を実施したり、またお子さんが生まれる男性職員本人に対しても育児休暇取得を勧めたりですとか、仕事のスケジュール調整も必要ですので、職員課も交えて業務調整したりとか、少しでも育休が取りやすい環境づくりをしようと、積極的に取り組んでいます。こういった取り組みを今後も引き続き進めていきたいと思っています。</p>
		委員	その目標と成果を毎年 6 月末にホームページでアップしていると思うんですが、より具体的に、数値で何%というふうに評価して欲しいと思います。
		井上会長	<p>ありがとうございました。目に見える目標になってくると、休暇を取る職員さん本人も市の目標に貢献するという意味でも休暇を取りやすくなるのではないかと思います。ぜひご検討いただきたいと思います。</p> <p>次に委員、お願いできますか。</p>
		委員	<p>19 番のコミュニティーセンターの機能の充実について、来期に向けて検討して欲しいことという観点で申し上げます。</p> <p>今、小学生くらいの子ども、私にもそれくらいの孫がおりますが、いつも家でゲームばかりやっています。これは理由の一つとしては、近所に子どもが減ってますし、集まって遊べる場が減ってきてるからだと思うんです。そこで、コミュニティーセンターを子どもたちが自由に安心して遊べる場として開放してもらえないかと思います。</p> <p>児童クラブというのもあって、それはそれで良いんですが、こちらは規定があって誰でも入れるようになっていない。またコミセン講座というのもあって、これも良いんですけども、そこまで難しくしないで、もっと柔軟に、空調の効いた広い部屋で同年代の子どもたちと自由に遊べて、大人が近くに居てくれる場があるといいと思うんです。</p> <p>孫に聞いてみたところ、私の地区の場合だと、コミュニティーセンターまで 2 k m あるんですね。それに、「小学校 4 年生までは自転車で自分の集落から出ちゃだめだから、行けない」って言うんです。</p> <p>例えばスクールバスを使うとか、今オンデマンドというんですか、スマホを使ってやるというような記事も見ましたが、そういうものを使って、特に冬場ですけど、小さな子どもでもどこかに集まれるようになるいいと思います。そうなれば施設の利用度も上がるのではないのでしょうか。</p> <p>坂井市は海も山も川もみんな揃っていて非常にいい環境だと思いますし、共働きをしても子育てがしやすい、小さい子どもがいても見てもらえる、その体制が整っているというふうになると、県外からも人が来てくれるんじゃないかと思います。</p> <p>先般福井新聞の記事で、県が全天候型の施設を作るというような事も見ま</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画に ついて	委員	<p>したけれども、坂井市のほうでもそういう施設があればな、と思いました。コミュニティセンターの機能拡充に取組中ということなので、ぜひこういうことも取り入れていただけたら、と思います。</p>
		事務局	<p>今のご意見につきましても、来年ヒアリング調査をしていく中で、各所管課、これはまちづくり推進課になりますが、意見として提供させていただき、中身を検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
		副市長	<p>委員さんが言うように、今は子どもの遊び場が少ないと。先ほどのお話にもありましたが、県が全天候型施設の補助制度を作るということで、それはまだ内容がはっきりしないのですが、中身によってはこれを使って坂井市でも整備するという事はあるかと思ひます。</p> <p>コミュニティセンターを開放してはどうかというお話でしたが、確かにそういう方法もあると思ひます。また各地区に集落センターがあると思うんですね。集落センターは地域の寄合の場にはなっていますが、普段はあまり活用されていないのではないかと思ひます。子どもだけでなく高齢者の方も、もっと地区のほうでこれも活用してもらえればと思ひます。</p> <p>私の方は丸岡ですけど、近くに昔廃校になった校舎を利用した児童館があって、そこでは5人か10人か、人数は少ないですが子どもたちが集まって、ゲームもやっていますけどボール遊びなんかもやっていて、非常にいいなと思ひています。</p> <p>最近子どもが少なくなってきて、昔だと大きい子が近所の小さい子の面倒を見て、なんてこともありましたが、今はそういう機会も確かに減っていると思ひます。やっぱりそういった経験は大事だと思ひますので、コミュニティセンターも使ってそういう機会づくりをするというのも、十分検討できることだろうと思ひます。</p>
		会長	<p>ありがとうございます。では続いて委員、お願ひします。</p>
		委員	<p>質問というか、ちょっと教えていただきたいのですが、39番の三国病院について。私も利用させていただいて、非常に対応も良くなったし、設備も充実してきましたし、予約とか支払も機械化、自動化が進んできているな、と感じているところなんですけど、ここで年度末残高を2億円確保するというのが、利益化という意味でとらえればいいのか、令和2年度で151百万ということで、令和3年度はどうなのか、病院の経営状況自体がどんな感じなのか、教えていただければ。</p>
		財務部長	<p>三国病院の経営状況ですが、市の一般財源から毎年5億円繰入をしています。公立の病院というのは社会的使命もあり、なかなか黒字でやっていくのは難しいというのが現実で、三国病院の累積赤字も二十数億といった状況ですが、今病院改革プランに則って、事務局長も県外から来て、経営的にはいい方向に向かっています。</p> <p>内部留保を2億円確保するというのは、どうしても資金繰りが厳しい状態に陥ることがある中で、残高が2億あれば資金繰りがスムーズにいくといった目標値で設定しています。</p> <p>累積赤字を減らしていくということには今取組中で、ここ近年はコロナの影響もあり、入院患者は増えているが外来患者が減っているという状況です。</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	財務部長	しかしながらコロナ対策での補助金もありますので、経営的にはここ 1、2 年は黒字になっているという状況です。
		会長	よろしいですか。では委員お願いします。
		委員	<p>防災の面ですが、最近福井ではあまり地震は来てないですが、将来大きな地震がまた来るだろうということで、備えが必要だと思います。</p> <p>21 番に自主防災組織の充実という項目がありますが、各まち協にも防災部会があつていろいろ取り組んではいるんですけど、なかなか思うようにいかない現状です。やはり区長さんも毎年変わるということもありますし、どこまで一時避難所や避難計画が徹底されているのかというと、少し不安な部分があるのではないかと思います。そんな中で、民間施設の活用といったこと、私の地区でも 2 か所ほど契約しているんですが、災害が起きたときにインフラ復旧までの間、避難所として民間施設を使わせてもらう場所があります。そういったことを市としても積極的に進めていってはどうかというのが一つです。</p> <p>もう一つは、今ウクライナの問題もありますが、原油がものすごく値上がりして、ガソリン、灯油、ガス、すべて上がって、生活にも非常に影響があるかと思ひます。そうした中で、脱炭素社会ということも国も言っていますが、この脱炭素ということに坂井市としてはどう取り組んでいくのかということです。公共施設の屋根に太陽光を設置するとか、民間の太陽光設備を補助するとかですね。そういったことを市としても進めていただければということです。</p> <p>また小さなところからですが、こまめな節電であるとか省エネという意識醸成のための取り組みとか、防災計画作成やマニュアル化というところについても、これは行政だけではなく、我々市民、地区の区長会ですとかコミセン単位で取り組むべき事ではあるんですが、何かそういうものを推進するための補助金を出していただくとか、いろんな形でのサポートをいただいて、より積極的に前に進めていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p>
		会長	いかがでしょうか。21 番と、それから 22 番にも少し環境ということで関わってくるのかと思ひますが。
		財務部長	<p>脱炭素については、今回、当初予算には上がっていませんが、6 月の補正以降にこの脱炭素社会の実現に向けた坂井市の取り組みについての予算を計上する予定であります。また、環境教育については、各小学校で環境教育をするという予算を当初に計上しておりますし、防災面では防災合宿といったことにも取り組んでいるところです。</p> <p>防災というのは、自助、共助、公助とよく言われています通り、行政と市民、まち協が一体となって、それぞれの役割を果たしながら、点検をしながら進めていく必要があると実感しております。</p>
副市長	<p>災害対策ですが、最近東北でまた地震もありましたし、皆さん関心の高いところです。坂井市としても災害に強いまちということで各種防災訓練ですとか、まち協のほうでもいろいろとやっていたいただいているところです。</p> <p>避難所については、今民間の施設を借りて避難所にするというお話もあり</p>		

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	副市長	<p>ましたが、自主避難所、指定避難所を指定しているところで、災害の種類によって様々な状況がありますので、なかなか難しいところもあるんですが、現実的には近くで避難してもらうのが一番いいということで、そういった民間施設の活用といったことも必要ですし、災害に備えた蓄電設備ということで、今長畝のコミュニティセンターで設置をしたところですけど、公共施設の屋根に太陽光設備を設置していくということも、環境基本計画の中で進めているところです。</p> <p>自主防災組織については、最近はなかなか組織率が上がらないんですけど、これはやはり集落によっては非常に人が少ないんですね。5軒か10軒しかない集落もありますので、集落単位で組織づくりをすることがなかなか難しい。組織の作り方としてまち協単位にするとか、ブロック分けしていくとか、少し見直す必要があるのかなとも考えています。</p> <p>またノーカーボンということで、環境問題は非常に国として、自治体としても重要な取り組みでありますので、これから市民の皆さんの協力を得ながら進めていく必要があると思いますので、よろしくをお願いします。</p>
		会長	では続きまして委員、お願いします。
		委員	<p>今ちょうど防災の話が出ましたので、今社協では3年以内にBCP計画とって、災害が起きたときに事業が止まらないような計画を立てようということで動き始めたところですが、市の方でもそういったものがあるのかということをお尋ねしたいのが一点。</p> <p>それから48番の事務決裁の関連になると思いますけど、国の方では2050年までにゼロカーボンと言っていたり、確定申告なんかでも印鑑不要ということで、どんどん紙から電子に切り替わっているのだと思いますけれども、坂井市ではいつまでにどうするといったものはあるのかということ。</p> <p>それと女性の活躍促進ということで、前回の会議資料では女性次長が何人と書いてあったと思うのですが、今現在はどんなふうなのかということ。</p> <p>それから補助金の合理化について、さきほど会長からもありましたけれど、前回の資料ではいくつ補助金があって廃止が6つで、といったものがあつたと思うのですが、今どのような状況なのか教えてもらえますか。</p>
		事務局	<p>BCP計画については市の方でも策定してしまして、災害の時はもちろん、今ですと新型コロナウイルスの蔓延で職員数が足りない状況になったとしても業務が止まらないよう、計画を定めています。</p> <p>2点目の事務決裁見直し、ゼロカーボンということですけど、紙の資料をなくして電子データにしていくという流れにはなっています、庁舎内や官公庁同士のやりとりでは進んでいるんですけど、どうしても市レベルでは対住民というものが多く、一部確定申告のようにデータでされる方もいらっしゃるんですが、まだまだ紙でのやりとりをされる方も多いところで、その点も含めて徐々にデジタル化を進めていく段階だと思います。これについてはいつまでにどこまで進める、というふうにお示しできるものはございません。</p> <p>次長、部長職における女性職員の数についてですが、次長職についてはすぐに数字が出ないのですが、部長職は令和3年の4月に女性部長が1人、</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	事務局	<p>初の女性部長ということで勤務しております。</p> <p>最後に補助金の検討結果についてですが、これは数字としてまとめてはいるんですけど、例年第1回の協議会で資料を提供させていただいており、この点については改めてご説明させていただければと思います。</p>
		副市長	<p>電子化・ペーパーレスということですが、いま市の入札は電子化がだいぶ進んでいますし、契約書なんかも電子契約に切り替えていこうと取り組んでいます。また、議会の資料についても去年から電子化ということで、タブレット端末を使っています、これがかかなり紙資料の削減に繋がっていると実感しています。今度県議会もタブレット導入をすると聞いていますが、坂井市はそれに先駆けて導入済となっています。今後ともそういった取り組みは積極的に取り入れていきたいと思っています。</p>
		会長	<p>それでは委員、お願いします。</p>
		委員	<p>ちょっと時間が足りないかもしれないですが、私から3つお願いします。</p> <p>一つ目は道路、三国丸岡停車場線が市役所の前を通っていますが、この前融雪を整備していただいて、それは非常にありがたいんですが、路面がガタガタなんですね。これは三国土木の管轄だと思いますので本来市に言う話ではないんですけど、だいぶ前からお願いしているので、市の方から県に何か要請してもらえないのかというのが一つ。</p> <p>それから、ひとつ前の予算の資料に戻りますけれど、行政デジタルアプリというのがあるんですが、これはどんな物なのかというのを一つ。</p> <p>三つ目は、ふるさと納税の使い道についてです。坂井市はふるさと納税の収入が大変多いということですが、今年はどうくらいあったのか。それから、これは私どものまち協も事業としてキッチンカーの整備をさせていただきました、それはそれでいいんですけど、今の制度では市の行政には使えないことになっていると聞いています。これは例えばさきほどから話に上がっている災害対策とか、そういったことにもっと使えばいいのではと思うのですが、そのあたりのことをお聞かせください。</p>
		財務部長	<p>まず道路についてですが、ご指摘のとおり融雪はついたけれど路面状態が悪いと、これについては市としても認識しておりまして、建設課のほうからも三国土木の方には言っているところです。ただ県の方でもほかにも何か所か状態の悪いところがあるようで、予算の関係もあるんでしょうけれど、なかなか進んでいないという現状です。</p> <p>二つ目のデジタルアプリですが、これはスマホで広報が見れるアプリを導入するという予算です。基本紙ベースの広報ですけど、市民の中には紙の広報が行き渡らないところとか、若い方もスマホで広報が見れるようにすることです。</p> <p>最後にふるさと納税ですが、今年度は15億円ほど寄附金をいただく見込みです。そのうち半分くらいは返品か、運搬費などの必要経費として使っています。</p> <p>今ご指摘があったように、坂井市の寄附制度というのは、市の通常の義務的経費とかそういったものには使わず、市民の方から提案をいただいた事業を寄附の検討委員会に諮りまして、そこで認められた事業に充てるという</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	財務部長	<p>た制度になっています。今の兵庫まち協さんの淵龍のキッチンカーもそこで認められた事業ということになります。</p> <p>その制度の中の事業メニューとして「市長におまかせ」という使い道も用意しておりまして、今委員さんおっしゃるような柔軟な使い道には対応できるのではと思います。</p>
		会長	では委員、お願いします。
		委員	<p>私の方からは、22 番のエコアクションの環境自然団体というのは具体的にどういう団体があるのかお尋ねします。</p> <p>それともう一つ、昨年 PayPay で 20%還元というのをやりましたけれど、ああいうことをまた今後取り組むことがあるのか、またふく割というのも消費者の方は上手に使っていますので、経済立て直しの政策として取り組んでいただけたらと思って質問させていただきます。</p>
		事務局	<p>環境団体の方ですけど、例えば三国の安島地区に通称「えろものふけ」という池があるんですが、そういった地域の自然環境を守っていきこうということで独自に活動されている団体とか、丸岡の竹田地区の方では木育推進ということで、木工細工を使った遊びから森林教育、環境教育や木材の確保にまで取り組んでいる団体などがあります。</p> <p>こういった団体からの手挙げ方式で取り組んできまして、現在 5 団体から応募があって活動をしているという状況です。</p>
		財務部長	<p>PayPay とふく割の件ですけど、PayPay 還元はコロナの対策、景気向上ということで、県内では坂井市が先駆けて 2 回ほどやったのですが、今後はアフターコロナですとかウィズコロナとか、状況を見て所管課で考えていくことになります。ただ財源としては国の交付金になるかと思いますが、そういったことも含めて状況を見ながらということになります。</p> <p>ふく割のほうは県の事業で、これも財源は国のコロナ対策の財源ですが、越前市だとか福井市は県と連携してやっているようですけど、坂井市ではどうするかというのは今の段階では明確にお答えすることは難しいです。</p>
		会長	<p>国の方でも Goto の再開ですとか、そういった議論が今後出てくると思いますので、そういったところも見据えながら、ということかと思います。</p> <p>最後に委員、お願いします。</p>
		委員	<p>総合計画の重点施策予算の学ぶ意欲を支えるまちづくり、また 29 番の労働者就業機会の確保と雇用の安定という項目にも関わってくるのですが、福井は全国でも有数の小学生の学業レベル、体力レベルを誇る素晴らしい教育がされていると思います。ですがそういう素晴らしい教育で育った子どもたちも、その多くが市外、県外に出て行ってしまっている。せっかくいい子たちを育てても、県外に行ったまま帰ってこないということがすごく多くて、このままだと誰もいなくなっちゃうんじゃないかと思うほどです。</p> <p>U I J ターンの補助金もあるようですが、令和 2 年度に活用された方は 0 人ということですし、なかなかこちらに戻ってこない、それはどうしてなのか、どういうご認識なのかお聞きしたいと思います。</p> <p>また先ほど委員から、お子さん、お孫さんがゲームばかりやっているというお話がありましたが、もちろん私もゲームばかりというのは良くないと思</p>

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	委員	<p>いますけれど、実は今ゲームというのは世界的に莫大なマーケットになっていて、それがビジネスとして成り立つ世の中になってきています。e スポーツも近い将来オリンピック種目になると言われていますし、東京や大阪にはゲームを専門とした、高卒の資格が貰える学校ができたりしています。</p> <p>私の知り合いのお子さんでも、早い子だと高校生で県外に出してしまうことが増えています。そういった現状がある中で、教育、Uターン促進の取り組みということをどのようにお考えなのか、お聞かせください。</p>
		財務部長	<p>坂井市は、子育てや教育については力を入れているというふうに県内でも全国的にも言われています。</p> <p>確かに学歴が上がるほど県外の大学に進学して、特に女性の方が戻ってこないという現状があります。お子さん1人あたり、県のお金も入れると1800万円くらいかかっていると言われますが、それで県外で就職して県外に税金を納めるという事に矛盾を感じるころはあります。</p> <p>そういった中でUIJターン政策も進めているわけですが、やはり魅力的な、自分に合った勤め先があるという事が第一の条件としてあるのだと思います。もちろん子育てしやすいとか就職先、企業の案内とか、いろんなPRはしていますけれども、なかなか増えていかない。</p> <p>昨今は、パソコンが繋がればリモートで仕事ができるといった状況もありますので、その辺りの新しい労働形態が多少増えてはいますし、今後は今おっしゃったゲーム関係ですとか、いろんな多様化するビジネスも増えていくものとは思いますが、やはりどうしても都会の方に行きたいという子どもが多いということになるのかなと思います。そういった中ですが、市においても18歳までの教育についても力を入れるし、さらに戻ってくることに力を入れていく必要があるものと考えています。</p>
		委員	現状どれくらいの割合で戻ってきているのですか。
		財務部長	数年前の状況ですが、大学進学等で半分ほど県外に出て、そのうち3割ほどしか戻ってこないという状況だったかと思います。
		委員	あと、子育てがしやすいという事ですが、私は東京からこちらに来たんですけど、自分が小学生の頃は電車に乗って学校に通っていましたが、電車とバスでどこにでも行けたんです。今坂井市で子どもを育てる方って、いろんなところの送り迎えは、車で親御さん、あるいはおばあちゃんおじいちゃんがされていると思うんですけど、その交通手段が選べないのは、本当に子育てがしやすいと思っています。Uターンの方だったら、まだおじいちゃんおばあちゃんがいて手伝ってくれると思いますが、Iターン、県外から移住して坂井市に住もうという方はそれもできないからすごく難しいんじゃないかと思っています。
		財務部長	<p>交通手段が少ないのは、確かに大きなネックの一つだと思います。</p> <p>子育てしやすいというのは保育園の待機児童が全くいないことですか、いろんな施策を評価いただいているものと捉えています。</p> <p>価値観の違いということもありますが、都会には都会の良さがあり、福井においては車社会ということもあって、ゆったりとした状況の中で、3世代同居、あるいは近居によって手伝ってもらいながら、子育てをしていた</p>

II 会 議	2 第三次行 政改革大綱 実施計画に ついて	財務部長	だいているというところです。
		委員	<p>価値観の違いというのは当然あるものと思いますが、結果的に今人が減っていることが問題なのだと思います。今どういったものが本当に求められているのかといったことが反映されて、人口がもっと増えていけばいいな、と思っています。</p> <p>それと、駐車場の問題も大きいと思います。私は三国なんですけれど、キンダーホール三国の廃止で、今跡地を駐車場として整備しているようですが、そこも地区の方が住居用駐車場として使うことしかできないと聞きました。駐車場についても需要があると思いますので、よろしくお願いします。</p>
		財務部長	<p>三国の街中、特にキンダーホール周辺は昔ながらの港町で、やはり駐車場がないのが一番の原因で人口が減っている地域の一つだと思います。空家も増えていく可能性がある中ですが、今あそこではアーバンデザインセンターも設置して、昔ながらの街並みの良さを活かしつつまちづくりに取り組んでいるところですので、そういったご意見を出していただきながら、まちづくりを進めていけると良いのかと思っています。</p>
		副市長	<p>いろいろとご意見ありがとうございます。今この市町でもそうですが、坂井市としても人口減少というのが一番の課題です。県内だと鯖江市だけが少し増えていて、坂井市は県内他市町と比べるとまだ良い方ではありますが、年々人口が減っている現状です。これを何とか歯止めをかけようと、UI ターンでもいいですし、若者を地元に残めようといろいろ施策に取り組んでいるところです。</p> <p>第一には先ほど財務部長も言ったように、働く場、雇用の創出が大事だということで、企業誘致。特にテクノポートですね。また地元企業のPRということで、高校生を対象とした企業説明会も開催頻度を増やしています。この3月にも開催して、結構参加者も多かったんですが、そうした活動を通して、大学を卒業したら地元に戻ってきてください、とやっているんですけど、まだまだ成果としては上がってきていないというのも事実です。ですがこういうのは長い目で見なければならぬと思いますので、これからも継続して取り組んでまいります。</p> <p>子育てしやすいまち、ということでは、いろいろな考え方があると思います。交通の便が悪いというのも事実ですが、田舎であっても、その代わりにいろんな施策、政策によってそれをカバーしていくことが大事だと思っています。他のまちからすると坂井市は自然豊かでいろんな制度が整っているまちだ、っていう声はいただけますので、至らないところもありますが、全体としては良いと思ってもらえるよう取り組んでまいります。これからはやはり若い人が必要ですので、若い人に魅力を感じてもらってまちづくりをしないといけない。今後も一生懸命取り組んでいきますので、またPRをしてください。</p>
		委員	<p>私自身は東京から来て今は三国にいますけれど、三国が大好きですし、移住してとても満足しています。どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>UIJ ターン促進についての補足になりますが、29 番の項目はあくまで労働者確保、就業機会拡大という観点での取り組み内容となっています。この</p>		

II 会 議	2 第三次行政改革大綱 実施計画について	事務局	<p>計画以降、県を中心に「新ふくい人」といって、様々な施策で移住者支援に取り組んでいます。坂井市ですと大学を卒業して坂井市に戻ってきた方の奨学金返済を支援するといった制度も設けておりまして、次期計画ではこういった制度も含めて取り組み内容や目標を設定していくものと思います。</p> <p>参考の数字としまして、令和2年度に新ふくい人ということで県外から県内に戻った方は県全体で1000人ちょっとしかいないという状況で、今後とも県も含めて取り組みが必要と思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
		会長	<p>皆さんからたくさんご意見いただきましてありがとうございました。これから行政改革の中に盛り込んでいきたいというところもあったと思いますし、行政改革以外のところでも各部署に共有をしていただきたいところもあったと思いますので、そういったところも市政全般に活かしていただきたいと思います。また資料2-2のところでも触れましたが、皆様には次の延長計画にも関わっていただくことを想定されているということでしたので、4月あたりで新規項目の募集ということがあるようですから、そういったところでもまた様々なご意見をいただければと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。</p>
	3 その他	会長	<p>それでは次の議題、その他ということですが、今日の会全体として皆様から何かご意見とかございますか。事務局からいかがですか。</p>
		事務局	<p>今期第2年目が終わりましたので、また委員報酬のほうを4月にお支払いしますので、ご確認をお願いします。</p>
III 閉 会		会長	<p>それでは本日の会議については以上とさせていただきます。</p> <p>円滑な進行にご協力いただき誠にありがとうございました。それでは進行をお戻ししたいと思います。</p>
		財政課長	<p>ありがとうございました。委員の皆様には貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>本日いただいた意見等については今後の計画にできるだけ盛り込んでいきたいと思っております。所管課と共有しながら進めていきたいと考えております。</p> <p>それでは以上で本日の会議終わらせていただきます。どうもありがとうございました。</p>